

第1回稲毛区地域福祉計画推進協議会議事要旨

【1】開催

日 時：平成22年6月26日（土）午前10時～午後12時

場 所：稲毛保健福祉センター 3階 大会議室

出席者：委員27名（32人中）、手話通訳者2名

事務局10人（稲毛区長、稲毛保健福祉センター長、高齢障害支援課4人、千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所3人）地域福祉課1人

【2】次第

1 開会

2 区長挨拶

3 委員紹介

4 事務局紹介

5 会議の公開について

6 議題（1）委員長・副委員長の選任について

（2）稲毛区地域福祉計画の実践状況について

（3）次期稲毛区地域福祉計画について

①次期稲毛区地域福祉計画の策定方針について

②作業部会の設置について

③今後の策定スケジュールについて

（4）その他

7 閉会

[3 委員紹介]

・今年度から参加の新規委員が7名選出された。

・平成22年度は32名の方に委員をお願いしている事を報告し、全委員を紹介した。

【3】議事の要旨及び発言要旨

議題（1）委員長・副委員長の選任について

今井保健福祉センター長が仮議長になり、稲毛区福祉計画推進協議会設置要綱（以下「要綱」とする。）第5条第2項に基づき委員長、副委員長が互選された。

主な発言内容は以下のとおり。

（仮議長）要綱第5条第2項により委員長・副委員長は委員の互選によることとされているが、はじめに委員長の選任について、皆様ご意見があればお願いしたい。

- (委員) 今年度からの方もいるので、互選といっても名前をあげづらいと思うので事務局の方で、案があれば出して欲しい。
- (仮議長) 事務局で何か案がないかということですが
- (委員) ずっとかかわっている方のほうが経緯がわかっているよ。
- (仮議長) 二つの意見が出されましたが、他にありますか。
- (委員) 色々な分野から出すなど事務局の意向を踏まえて互選にしたらよいのではないかな。
- (仮議長) 委員長、副委員長併せ3名となっているが、その3名を色々な分野から選出したらよいのではないかというご意見ですか。
- (委員) 立候補がいれば一番いいが、それがなければ具体的に名前を出して、その中から互選をしたらよいのではないかな
- (委員) 事務局が提案する前に、皆さんが適任と思われる方の名前をあげてもらったほうがよい。
- (仮議長) 具体的に経験のある方のお名前をとということですが
- (委員) はじめから参加している方も、名前だけで会議に出てこない方も多い。出席率の良い方をお願いしたい。
- (委員) 公募から1名、社会福祉協議会から1名という風にバランスをとった方がよい。
- (仮議長) どなたか具体的な名前はありますか
- (委員) 私は新人です。
- (委員) 委員長に原田委員を推薦します。
- (仮議長) 具体的に委員長に原田委員という発言がありました。他にありますか
- (委員) 推進協と作業部会両方に参加できて、意見の共有ができる方をお願いしたい。
- (委員) 飯田委員がよい。
- (委員) 推薦頂いたのは嬉しいが、先ほどから出ているように色々な分野から出るのが望ましいと思う。
- (仮議長) 他業務もあるので辞退したいということですか。原田委員と飯田委員の名前が出されたのでどちらかに委員長をお願いしたい。
- (委員) 私は辞退します。会議の中で意見を出して協力したい。
- (委員) 進行に徹するという事であれば委員長を引き受けたい。いろいろな分野から委員長・副委員長を選出する、女性の方を入れる件については賛成。
- (委員) 松川委員、生島委員、矢田委員の女性委員の中から副委員長を選出してもらいたい。
- (仮議長) まず委員長から決めたい。原田委員と飯田委員の名前が出たが、飯田委員からは辞退したい旨の話があったので、原田委員に決定してよろしいですか。
- (一同拍手) ~異議なし
- (仮議長) 委員長は原田委員で決定しました。続いて副委員長を選任したいので意見をお

願いたい。

地域で活動している、連協、社会福祉協議会、民児協等の分野の中から候補があれば挙げてほしい。

(委員) 連協については、多岐にわたって忙しいので、辞退したい。生島委員を推薦する。あと一人は社会福祉協議会、民児協の中から選んではどうか。

(仮議長) 生島委員が推薦されましたが、いかがでしょうか。

(一同拍手) ~異議なし

(仮議長) 副委員長の1名は生島委員で決定。さきほど実際に地域で活動している方々の中から選んではどうかという意見がありましたが、具体的なお名前はありますか。

(委員) はじめての参加で具体的お名前までは出せない。すでに決まっている方と稲毛区内で離れている場所住んでいる方が良いのではないかと。

(委員) できれば西協委員に願いたい。

(委員) 地域で活動している方にこだわらなくてもよいのではないかと。福祉のことに堪能な松原委員を推薦する。広い視点で福祉をみられるのでは。

(仮議長) 西協委員、松原委員の2名が推薦されたましたが。

(委員) 名前をだしてもらったし、時間もないので引き受けます。

(一同拍手) ~異議なし

(委員) 民生委員も地区部会も携わっている瓜生委員を推薦する。

(委員) せっかくの推薦だが新人なので辞退する。

(仮議長) 生島委員の発言は、本人のかわりに西協委員ということですか。もうひとりを西協委員ということですか。生島委員はすでに副委員長で承認されています。

(委員) わかりました、がんばりたいと思う。

(仮議長) では副委員長は、生島委員と松原委員に決定します。

委員長に原田委員、副委員長に生島委員、松原委員の2名で今年度は進めていきたいと思う。仮議長は以上で終了します。

議題(2) 稲毛区福祉活動計画の実践状況について

千葉市社会福祉協議会 鈴木所長より資料にしたがってそれぞれの項目ごとに、地域での実践事例について説明。

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

(委員長) 確認ですが、今年度が現在の福祉計画の最終年度。次期の福祉計画の見直しの作業にとりかかっているところ。現在の計画での取組み状況は、今の説明にあった通りで、次年度の計画を見直すときの基礎材料となるもの。この資料は昨

年度も配布されたものですが、なにか質問や補足などあればお願いしたい。

(委員) 実践例の中で、黒砂北部自治会の広報紙発行というのがあるが、これはここに限らず、多くの自治会でおこなっている。この地区だけ載せた理由は。

(事務局) 情報提供を受けたのが、この地区だった。情報提供されれば、他の地区も掲載する。

(委員) 自分のところでも実施しているし、非常に多くの地域でおこなっている。取捨選択が必要では？

(事務局) 情報の把握が大事なので、教えていただきたい。

(委員) 情報提供を受けた背景を教えてください。

(事務局) 推進協の会議の場で情報提供用紙を配り、情報を記入し提出してもらった。

(事務局) 広報紙は多くの自治会で発行していると思われるので、地域振興課に伝えてもらえば、情報をもらえるようにするので、段取りしたい。

(委員) 実践状況はいつ現在のものか。今年度も調査を行うのか。

(事務局) 平成21年11月末現在の資料。情報の提供は常に受け付けているので情報をいただければ更新する。調査については、地域福祉課と相談したい。

(委員) 情報が提供されないと更新されないのはおかしいのではないか。行政で把握しているものは担当部署が違って、掲載されるべきである。

(事務局) 情報については、集約して可能な限り示したい。

(委員) この資料に載っているようなことは、地域の自治会はみんなやっている。連協で何に困ってるかという、ボランティアを集め、育成すること。各自治会が高齢化してきている。そのあたりを踏まえ考えていくべきである。

(委員長) この実践状況の表を完璧にするのが目的ではない。いただいた意見も踏まえたうえで、次の計画を考えていくのがこの会議の目的。

議題(3) 次期稲毛区地域福祉計画について

(1) 次期稲毛区地域福祉計画の策定方針について

高齢障害支援課 日暮高齢支援係長より資料「次期稲毛区地域福祉計画の策定方針について」を用い、計画の概要、見直しの趣旨、見直しの考え方、見直しのイメージ、見直し方法等について説明。またすでに昨年度の推進協で承認されている「稲毛区地域福祉計画の見直し(案)」について説明。

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

- (委員) 地域の中でコミュニケーションが取れなくなっている。マンションが多く建設され、中に入っていけないものも多い。実情を踏まえ、コミュニケーションが取れないところへの対応についてはどう考えるか。
- (事務局) おっしゃるとおりマンションが多く建てられているが自治会の結成率は必ずしもよくない。町内会への加入率も低くなっている。このままにしておくことのできないので、地域振興課が働きかけを行っている。また自主防災組織作りの働きかけも行っている。自主防災組織を通じて地域の連携も図れ自治会結成へもあるかと思う。
- (副委員長) ひとつの情報提供として、うちの自治会長は地域の中にマンションが建設される際、自治会に入ることを条件に建てて良いという聞いた。
- (委員) マンションの管理の会社が、地域との関わりのために加入はするが、居住者の住所・氏名は一切教えない。回覧物もいらないとされるのが実状。
また、この計画の5年計画というのが長すぎる。多くが高齢者向けのものだが、計画を進めていくうちに対象者がいなくなってしまう。5年も経てば時代が変わってしまう。もう少しスピードアップしたほうが良い。
- (委員) 見直し(案)の中の公共施設への移動手段の確保とあるが、自分の地区も非常に不便。とくに高齢者には不便である。ぜひ重点項目にして欲しい。
- (委員長) ご意見は踏まえたうえで、実際に重点項目に言えるかどうかは、作業部会でまた検討することになると思う。
- (委員) いままで計画には「安全・安心」という言葉が使われていたが、今回の資料には安心という言葉が抜けている。重要な言葉は残すべき。区の福祉計画は公助の手助けがなくてはやっていけないので、表の中にも公助の部分を入れると見やすくなる。
- (事務局) 安心という言葉が抜けていました、申し訳ございません。自助・共助だけでは難しいこともたしかにあります。見直し(案)の中で検討していきたいと考えております。
- (委員) 初めての参加だが、話がよく見えない。見直し案に至るまでの経緯、実態把握がどのようになっていて、その実態の中から今日の到達点がここ、課題がこれなので来年の重点項目がこれであるという説明がなされないとわからない。到達点、課題が明らかにならないと、区民に納得してもらえない計画は作れないのではないか。
- (事務局) すでに検討部会で検討されたうえで作られた見直し(案)であり、推進協で承認をうけたものです。
- (委員) 実態と課題と対策が一連のものとして説明されなければ中身がわからない。
- (事務局) 現計画は、5年前に検討に検討を重ねて課題出しを行い、具体的取組をベースに協議を重ねてきたものです。

- (委員) 今後実態調査は行なうのか。それとも実態調査したものを5年かけて協議してできたものなのか。
- (事務局) 情報提供ということでよせられた情報で、アンケートや調査という形では実施されていません。
- (委員) 市の防災課と高齢福祉課が各区にモデル地区モデル地区ができた。うちの地域でもでも安心カードに取り組んでいる。また別の地区では別のやり方で取り組んでいる。
- (委員長) 時間が経つうちに、資料に掲載されていない新しい取り組みも増えてるということですね。
- (事務局) 先ほどの実態調査を行うのかという質問ですが、これは市の地域福祉課と検討させていただきます。
- (委員) 新しい委員が今日だけの説明ですべて理解するのは難しい。稲毛区地域福祉計画の冊子など事前に読み込まないとわからないのでは。

(2) 作業部会の設置について

高齢障害支援課 日暮高齢支援係長より素案作成のための作業部会の設置について説明し、作業部会のメンバーを募った。

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

- (委員長) 具体的な日にちや、回数はまだはっきりとはしていないようです。
- (委員) 何名ぐらい必要なのか
- (事務局) 決まりはないが、目安として委員長、副委員長2名を含め10名程度としたい。
- 森脇委員挙手
矢田委員挙手
松川委員挙手
西脇委員挙手
山崎委員挙手
- (委員長) 挙手した方以外にも、参加されたい方は後からでもかまわないので連絡してほしい。この場では5名と委員長、副委員長を加えた8名で作業部会とします。

(3) 今後の策定スケジュールについて

高齢障害支援課 日暮高齢支援係長より策定スケジュールについて以下のように説明。

- ・7月から8月後半にかけて作業部会を平日に数回実施予定
- ・8月下旬から9月上旬に第2回推進協議会の開催（市民説明会向けの次期推進計画の素案検討）

- ・ 10月に市民説明会の実施予定
- ・ 9月以降も必要に応じて作業部会の実施
- ・ 12月に第3回推進協議会の開催（市民説明会での意見の集約。パブリックコメント用の次期推進計画素案検討）
- ・ 1月頃にパブリックコメントの実施
- ・ 3月に第4回推進協議会の実施（次期推進計画策定）

議題（4）その他

（1）稲毛区地域福祉計画推進協議会設置要綱の一部改正

高齢障害支援課 日暮高齢支援係長より要綱改正について以下のように説明。

稲毛福祉事務所から稲毛保健福祉センターへの組織替えによる変更。

- ・ 第3条第4項「稲毛福祉事務所長」から「稲毛保健福祉センター所長」へ変更。
- ・ 第7条「稲毛福祉事務所福祉サービス課」から「稲毛保健福祉センター高齢障害支援課」へ変更。
- ・ 第8条「稲毛福祉事務所長」から「稲毛保健福祉センター所長」へ変更。

（2）広報委員の選任について

千葉市社会福祉協議会稲毛区事務所 高橋担当より、今年度も広報紙の発行に伴う広報委員の選任について以下のように説明。

- ・ 年2回（11月と3月）発行予定
- ・ 広報委員は例年同様2名の選任
- ・ 昨年度は山崎委員と生島委員

説明後、質疑応答が行われた。主な発言内容は以下のとおり。

（事務局）広報紙は年2回発行で、発行前に2回程度広報委員会を開催しているので、年間4回程度会議がある。そう多くはないので、協力して欲しい。昨年度広報委員だった山崎委員に今年も参加をお願いしたい。

（委員）昨年同様、生島委員、山崎委員がよいのではないかと。

（委員）委員みんなの協力があれば誰にでもできると思う。

（委員）今年は辞退したい。

（委員長）山崎委員は引き続きお願いできるか。みなさんもよろしいか。

（委員）はい。

(一同拍手) ～異議なし

(委員長) 山崎委員お願いします。ひとりでは大変だと思うが。

(委員) 茂手木委員を推薦。

(委員) 公務多忙なので、辞退したい。

(委員) 地域が離れているほうがいいのでは。

(委員長) すぐに決まらないようならば、次回までにでも選出してもらえれば。

(委員) 飯田委員：私がやります。

(委員長) では飯田委員と、山崎委員お願いします。他の方も協力をお願いしたい。

議題は以上ですが、委員の方から何かありますか。

※松川委員からモデル事業で作成した山王地区の福祉マップについての紹介・説明。

(委員) 費用はどれくらいかかったか。

(委員) モデル事業なので15万円の枠内。地域の印刷所を使ったので印刷代は5,000部で約8万円。プロのイラストレーターに格安で絵を描いてもらった。

次回の区推進協議会は8月下旬から9月上旬に開催を予定しています。

事務局が閉会を宣し、第1回稲毛区福祉計画推進協議会は散会。